

Veeam Agent for Linux

パブリック・クラウドと物理ワークロードのアベイラビリティ

Veeam Agent for Linuxは、パブリック・クラウドまたはオンプレミスのどちらでも、Linuxのアベイラビリティを確保するために設計された、シンプルなバックアップ・エージェントです。

サービス・プロバイダーの皆様へ

Veeam Agent for Linuxは、Veeam Cloud and Service Provider (VCSP) パートナー様に心躍る新しい機会をお届けします。

Veeam Backup & Replicationコンソールを使用して、顧客のLinuxバックアップと他のVeeamバックアップを併せて管理できるようになりました。そのため、環境全体に対してBaaS (Backup as a Service) を実現できます。

IT組織では、より多くのLinuxワークロードをパブリック・クラウドへ移行しようとしています。この状況でビジネスの中断を回避するためには、ワークロードの確実なバックアップと復元を実現することが重要です。ところが、Linuxインスタンスのバックアップと復元には通常、多くの手間とコストがかかります。手作業による操作が必要になるだけでなく、IT管理者の貴重な時間が費やされます。

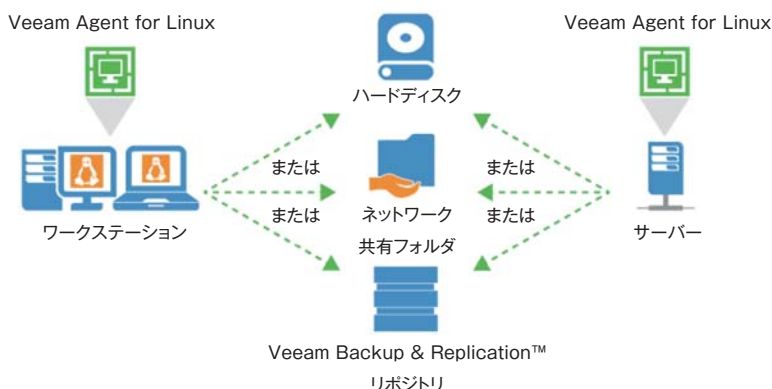
Veeam® Agent for Linuxは、これらのLinuxワークロードの適切なバックアップに必要なツールと相互作用を提供し、まさにVeeamならではの高速で直感的な信頼できる復元オプションを実現します。

高速で柔軟なLinuxバックアップ

Veeam Agent for Linuxは、Linuxインスタンスの実行環境（物理マシン、パブリック・クラウド、またはその両方）を問わず、スケジュールされたバックアップを実行する最適なソリューションです。

Veeam Agent for Linuxのコンポーネントは次のとおりです。

- コンピュータ全体、ボリュームレベル、ファイルレベルのバックアップ
- 組み込みスナップショットおよび変更ブロック追跡 (CBT) ドライバ
- 複数ジョブのサポート¹
- pre-freeze/post-thawスナップショット・スクリプト¹
- 使いやすいUIまたは従来のLinuxコマンドライン・インターフェイス (CLI) の選択肢
- Veeam Backup & Replication™との統合



Veeam Agent for Linuxでは、最初のフル・バックアップ以降は増分バックアップを実行します。つまり、最後のバックアップ・サイクル以降に新しく追加または変更されたデータ・ブロックだけをコピーします。そのため、バックアップが高速になり、最小限のストレージだけが使用されます。

Veeam Agent for Linux Server (381 days left)

Backup session on filesrv02.tech.local [52] % Status: Running

Summary		Data	
Duration:	00:03:41	Processed:	1 GB (52%)
Processing rate:	10.6 MB/s	Read:	1 GB
Bottleneck:	Target	Transferred:	931.9 MB (4.3x)

Time	Action	Duration
14:01:59	Job started at 2016-11-22 14:01:59 PMK	
14:01:59	Preparing to backup	
14:01:59	Starting full backup to Repository_1	
14:01:59	Creating volume snapshot	00:00:01
14:02:04	Backing up 1102 bootloader on /dev/sda	00:00:04
14:02:09	Backed up sda 209.0 MB at 12.8 MB/s	00:00:16
14:02:26	Backing up centos_filesrv02 3.5 GB at 10.7 MB/s (51x)	00:03:13

システム要件

CPU : x86プロセッサ (i386以降)

メモリ : 1GB RAM

ディスク容量 :

製品のインストールには100MBのディスク空き容量が必要

OS : Linuxカーネル2.6.32以降が必要

ディストリビューション :

以下のディストリビューションに関しては、64ビットと32ビット両方のバージョンがサポートされています。

Debian、Ubuntu、CentOS/Oracle Linux/RHEL、Fedora、openSUSE、openSUSE Leap、SLES。

ファイル システム :

BTRFS、ZFS、NSSを除き、上記のディストリビューションで利用できるすべてのファイルシステムが対応しています。

使いやすい復元機能

データを元に戻す必要がある場合、Veeam Agent for Linuxには、使いやすい復元オプションが複数用意されているため、同じイメージレベルのバックアップからすべてを復元できます。オプションには、次のものがあります。

- **ベアメタル :**
システム全体を同じハードウェアまたは別のハードウェアに復元
- **ボリュームレベル :**
故障したハードドライブまたは破損したパーティションを復元
- **ファイルレベル :**
個々のファイルをどのバックアップ・ファイルからでも数分で復元

ブータブル・リカバリ・メディア

Veeam Agent for Linuxでは、リカバリ・メディアを使ってさまざまな問題に対処でき、次のことを実行できます。

- **ボリューム・リストア :**
Linuxクラウド・インスタンスまたはオンプレミスのバックアップからボリューム全体を復元
- **ファイル・リストア :**
Linuxバックアップから個々のファイルを参照して復元
- **ネットワークの構成 :**
DHCPサーバーからネットワーク設定を取得して、ネットワーク共有のバックアップを参照可能
- **コマンドラインへの切り替え :**
コマンドラインから組み込みUIで利用できる機能すべてを実行でき、高度なシステム・ツールにアクセス可能
- **再起動 :**
Linuxクラウド・インスタンスまたはオンプレミス・サーバー/ワークステーションを再起動

Veeam Backup & Replicationとの統合

Veeam Agent for Linuxは、ご使用のVMware vSphere仮想環境またはMicrosoft Hyper-V仮想環境でVeeam Backup & Replicationと統合されるので、ユーザーはVeeamバックアップ・リポジトリをLinuxバックアップ・ジョブの保存先としてフルに活用したり、既存のファイルレベルの復元機能を利用したりすることができます。また、オンプレミスのバックアップをオフサイトに格納できます。